

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 兵庫県立佐用高等学校体育館 Dコート

試合区分: No. 210 成年女子 準々決勝

期 日: 2006(H18)年10月2日(月)

主審: 吉田 利治

開始時間: 10:00

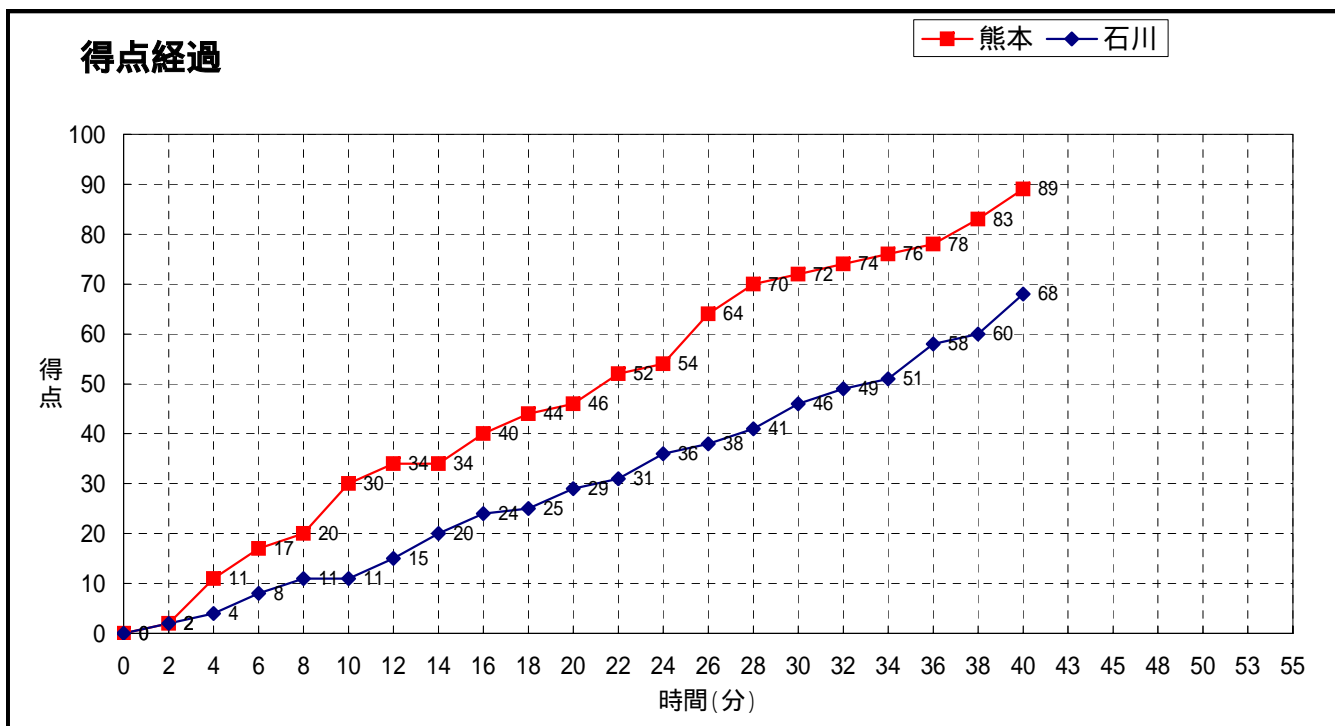
副審: 細見 克広

終了時間: 11:27

入場者数: 434

熊本						石川									
89						68									
30 -st1- 11						30 -st1- 11									
16 -2nd- 18						16 -2nd- 18									
26 -3rd- 16						26 -3rd- 16									
17 -4th- 23						17 -4th- 23									
-OT1-						-OT1-									
-OT2-						-OT2-									
-OT3-						-OT3-									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	村上 好美	2	0	1	0	2	4	*	上野 沙希	8	1	1	3	1
5	*	土橋 里美	13	1	5	0	4	5	*	福島 幸子	13	1	5	0	3
6		川田 朋恵	2	0	1	0	1	6	*	古澤 かおり	0	0	0	0	1
7		天川 道代	0	0	0	0	2	7	*	西川 由紀子	2	0	1	0	0
8	*	坂田 奈菜実	10	0	5	0	2	8		勝崎 奈々	0	0	0	0	0
9	*	守田 佳代	18	0	9	0	1	9		森 佳奈江	0	0	0	0	2
10		前田 由紀子	3	1	0	0	1	10	*	松島 あゆ	9	0	4	1	0
11		吉田 舞	14	0	4	6	3	11		藤井 沙里奈	0	0	0	0	0
12		中島 雪枝	2	0	1	0	0	12		金城 美咲	10	0	3	4	2
13		馬場 晶子	8	1	2	1	0	13		奥村 麻耶	2	0	0	2	1
14		内田 貴子	2	0	1	0	0	14		竹本 茜	17	1	5	4	0
15	*	米村 知紗	15	0	5	5	1	15		畑中 美保	7	1	2	0	3
コーチ		鹿毛 美智子						コーチ		小林 正三					
合計			89	3	34	12	17	合計			68	4	21	14	13

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、石川#5福島のドライブインでスタート。両チーム、厳しいマンツーマンディフェンスで得点を許さない。立ち上がり、やや硬さの見た熊本は、#4村上がミドルシュート、#15米村が身長を勝る相手にリバウンドシュートを決め、その後も、#9守田がドライブイン、ミドルシュートを連続で決め、得点を重ねる。石川も#4上野がファールを誘いフリースローを決めるが、熊本の堅守でなかなか得点が伸びない。石川は、#7西川のポストプレー、#14竹本のドライブインで反撃するも、熊本#9守田のドライブイン、#15米村のカットインを許してしまう。残り3分、石川#15畑中の3Pシュートが決まり17-11と追いつけるも、熊本は#5土橋の3Pシュートで突き放す。リバウンドがなかなか取れない石川を、熊本が30-11と引き離して終わる。

第2ピリオド、石川#14竹本、#10松島の連続ポイントでスタート。その後も#5福島のドライブイン、#14竹本の3Pシュートで攻撃のリズムを掴みかけ、残り6分で34-20と石川が追いつけたところで熊本のタイムアウト。流れを変えたい熊本だが、再開後、石川#4上野、#5福島の連続ポイントで34-24となる。熊本#5土橋のパワープレーで得点するも一進一退の攻防が続き、46-29の熊本リードで終わる。

第3ピリオド、熊本#5土橋のリバウンドシュートからのスタート。石川#14竹本がすかさず反撃。ややミスが目立つ石川に対して、熊本は#9守田、#8坂田、#5土橋らの4連続ポイントで56-31と、一気に差を広げにかかる。互いにマンツーマンの厳しいディフェンスを敷く中、熊本は、#15米村が粘り強くシュートからファールを誘い、フリースローを着実に決める。石川はゴールを狙うも熊本の厳しい守りになかなか得点できず、タイムアウトをとって何とか流れを変えようとするが、逆に点差を広げられる。石川#10松島のポストプレーもディフェンスに阻まれ、72-45と熊本リードで終わる。

第4ピリオド、石川#10松島のシュートでスタート。その後も#12金城からのアシストを#5福島が決め、#10松島の連続シュートで追いつけムードを作るも、熊本の厳しい守りに思うように点数が伸びず、逆に残り2分、熊本は#10前田の3Pシュート、#14内田のミドルシュートが決まり83-58とした。石川も#5福島の3Pシュート、小柄な#12金城のファーストブレイクで、最後まであきらめない姿勢を見せたが反撃も及ばず、熊本が89-68で勝利する。

担当者: 小谷 領人(のじぎく兵庫国体佐用町実行委員会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会